

令和4年度  
施政方針及び当初予算提案説明

令和4年2月22日

桶川市

令和4年桶川市議会第1回定例会の開会に当たりまして、新年度に臨む私の市政運営に関する基本的な考え方並びに令和4年度予算案及び主要施策の概要を御説明申し上げます。

## 【 はじめに 】

昨年4月の市長選挙におきまして、引き続き市政3期目の重責を担わせていただくことになり、大変身の引き締まる思いでございます。引き続き、未だ事態の収束が不透明なコロナ禍にしっかりと立ち向かい、市長としての職務を全力で全うしていく所存でございます。今後とも市民の皆様の声に耳を傾け、これまで培った経験と実績を礎<sup>いしずえ</sup>とし、夢と希望を未来へつなぐまちづくりの実現に取り組んでまいります。

さて、本市の財政状況につきましては、過去に例のない極めて厳しい時代を迎えています。これまで簡素で効率的な行財政運営の確立と行政サービスの更なる向上を図るため、歳入の確保や歳出の削減、借入金の抑制や基金の積み立て、指定管理者制度や民間活力の導入など、様々な取り組みにより、健全な財政運営を図ってきたところでございます。しかしながら、ここ数年は、歳入一般財源は概ね同水準で推移している一方、歳出においては、社会保障経費などの義務的経費の増加やごみ焼却施設の稼働停止に伴う経費の発生などを背景に、經常経費が増加することで多額の収支不足が発生しております。

このような厳しい財政状況の中でも、ポストコロナ時代を見据え将来に向けたまちづくりを推進するとともに、少子高齢化社会に向けた子育て支援や高齢者及び障害者福祉のより一層の充実を図り、「夢と希望を未来へつなぐまちづくり」の実現に向け、持続可能なまちづくりを進めてまいります。

今後も引き続き、議員各位並びに市民の皆様のご理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 【 市政運営に対する基本的な考え方 】

それでは、市政運営に関する基本的な考え方につきまして、順次申し上げます。

令和4年度の市政の運営に当たりましては、厳しい財政運営が見込まれる状況にあっても、ポストコロナ時代を見据え、新しい生活様式に合わせた施策を実施していく必要がございます。

市の最上位計画である総合振興計画の次期計画につきましては、コロナの影響により当初の予定を延長し令和4年度中の策定を予定していることから、予算編成においては、現計画の理念を踏襲し事業に取り組むとともに、「夢と希望を未来へつなぐまちづくり」の推進に向け必要な施策をスピード感を持って展開してまいります。

当初予算の編成に当たりましては、ポストコロナ時代を見据え、5つの重点分野として「安心安全で利便性の高いまちづくりの推進」、「こどもが輝き、安心して子育てができるまちづくりの推進」、「高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくりの推進」、「にぎわいや活力に満ちあふれる元気なまちづくりの推進」そして「新たな時代に向けたまちづくりの推進」を位置付け、優先的に予算措置を講じるものです。

それでは、5つの分野の主な事業について御説明申し上げます。

はじめに、「安心安全で利便性の高いまちづくりの推進」でございます。

市民の安全を確保するため、上日出谷南2号調整池の整備や目沢排水路の治水対策など、災害に対して安心して安全な基盤づくりに取り組んでまいります。また、交通の利便性と安全性の向上を図るため、愛宕東線整備事業や道路照明灯LED化事業に取り組むなど、安心安全で利便性の高いまちづくりを推進してまいります。

次に、「こどもが輝き、安心して子育てができるまちづくりの推進」でございます。

子育てを支援するため、産後健診の助成や産後ケアの拡充、要保護児童訪問支援事業など、引き続き安心して子育てができる環境づくりに取り組んでまいります。また、小・中学校におきましては、熱中症対策としての体育館空調設備整備事業や衛生環境向上のための給食室トイレ改

修事業などの環境整備に取り組んでまいります。さらに、通学路安全対策事業、オンライン通信費助成事業、学校プール民間委託の拡大など、こどもが輝き、安心して学ぶことのできる教育環境の整備を推進してまいります。

次に、「高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくりの推進」でございます。

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう支援するため、高齢者安心ネットワーク事業、地域支え合い事業、居宅サービス利用料軽減事業など、様々な在宅福祉サービス事業を引き続き実施してまいります。また、健康づくりや介護予防を図るため、通いの場における100歳体操の支援や健康長寿いきいきポイント事業など、これまで実施してきた各種事業の取組を引き続き進めてまいります。

さらに、新型コロナワクチンの追加接種や带状疱疹ワクチン接種の助成、地域福祉の新たな活動拠点となる地域福祉活動センターのリニューアルなど、高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくりを推進してまいります。

次に、「にぎわいや活力に満ちあふれる元気なまちづくりの推進」でございます。

べに花まつり、市民まつり、春のふれあいフェスタなどを開催し、そうしたイベントを通じて桶川市の魅力を発信しにぎわいや活力に満ちあふれる元気なまちづくりを推進してまいります。さらに、川田谷生涯学習センターの大規模改修を実施するとともに桶川飛行学校平和祈念館の映像コンテンツ等を充実するなど、本市のもつ歴史的魅力の発信に努めてまいります。

次に、「新たな時代に向けたまちづくりの推進」でございます。

社会環境が大きく変化する中、ポストコロナ時代を見据えた持続可能なまちづくりを推進するため、次期総合振興計画の策定を行います。

駅東口整備事業につきましては、引き続き用地買収を進め、早期完成に向け整備を推進してまいります。また、道の駅推進事業につきましては、整備事業者の選定業務を実施し令和6年度中の開業を目指してまいります。さらには、地球温暖化対策のため脱炭素事業に取り組むなど新

たな時代に向けたまちづくりを推進してまいります。

## 【財政環境と予算編成の基本的な考え方】

続きまして、市政を取り巻く財政環境と令和4年度予算編成に当たりましての基本的な考え方を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の流行は世界規模で拡大し、人々の生活の在り方や社会経済にも大きな影響を及ぼしてきました。これまで様々な感染対策を講じるとともにワクチン接種を推進してきましたが、事態の収束は未だ不透明な状況にあります。

こうした中で編成された国の令和4年度一般会計予算案は、前年度比0.9%増の107兆5,964億円となり10年連続で過去最大規模となりました。

地方自治体の予算編成の指針となる地方財政計画においては、地方が安定した行政サービスを提供しつつ、地域社会のデジタル化や消防・防災力の強化などの重要課題に取り組めるよう、一般財源総額は、前年度を上回る額が確保されたところでございます。歳入につきましては、地方特例交付金や臨時財政対策債が減少する一方で、地方交付税や地方税が増加いたしました。また、歳出につきましては、地方が幅広い施策に自主的・主体的に取り組むことができるよう所要の経費を措置し、地方一般歳出も前年度を上回る額が確保されたところでございます。

このような社会情勢の中、本市におきましては、歳入の根幹をなす市税収入は前年度比較で3.1%の増額を見込んでいるところでございます。一方で、歳出につきましては、高齢化等を背景とする社会保障経費や市債の償還などの義務的経費の増加、老朽化した公共施設の改修に要する経費の増加、新型コロナワクチン接種に要する経費の増加など、行政需要の増大により極めて厳しい財政状況にあります。

こうした状況にあっても、「夢と希望を未来へつなぐまちづくり」を推進するため、将来への投資を行いつつ、こどもから高齢者まで多くの市民の皆様が安心して生活を送ることができるよう、必要な予算措置を講じたところでございます。

## 【 令和 4 年度予算案の概要 】

令和 4 年度の予算案は、これまで申しあげました考え方に立って編成いたしましたもので、その規模は、

一 般 会 計	2 5 2 億 3 , 7 0 0 万 円	(前年度比 5 . 2 % 増)
国民健康保険特別会計	7 3 億 6 , 6 0 0 万 円	(前年度比 0 . 1 % 増)
介護保険特別会計	5 9 億 8 , 7 0 0 万 円	(前年度比 1 . 0 % 増)
後期高齢者医療特別会計	1 2 億 8 , 8 0 0 万 円	(前年度比 1 3 . 2 % 増)
公共下水道事業会計	1 5 億 1 0 8 万 8 千 円	(前年度比 1 . 2 % 増)

となりました。

それでは、一般会計予算案の概要につきまして御説明申し上げます。  
はじめに、歳入でございます。

市税につきましては、令和 3 年度の決算見込みや経済動向などを参考に、前年度比 3 . 1 % 増の 1 0 3 億 3 , 5 8 1 万 3 千円を計上しております。

地方譲与税から地方特例交付金までにつきましては、国から示される地方財政計画や過去の実績を勘案しそれぞれ計上いたしました。

地方交付税につきましては、令和 3 年度の決算見込額をベースに、地方財政計画を参考といたしまして、前年度比 1 7 . 1 % 増の 2 8 億 7 , 0 0 0 万円を計上いたしました。

国庫支出金につきましては、新型コロナワクチン接種対策費負担金の皆増などに伴いまして、前年度比 9 . 6 % 増の 4 1 億 1 , 9 0 4 万 1 千円を計上いたしました。

県支出金につきましては、障害者自立支援給付費負担金の増加などに伴いまして、前年度比 4 . 0 % 増の 1 7 億 9 , 8 5 8 万 2 千円を計上い

たしました。

寄附金につきましては、土地区画整理組合が解散することによる一般寄附金の皆減などに伴いまして、前年度比52.1%減の4,126万4千円を計上いたしました。

繰入金につきましては、減債基金繰入金や公共施設等総合管理基金繰入金の皆増などに伴いまして、前年度比32.9%増の10億9,609万6千円を計上いたしました。

市債につきましては、臨時財政対策債の減少などに伴いまして、前年度比19.9%減の17億3,260万円を計上いたしました。

次に、歳出につきましては、「桶川市第五次総合振興計画」における施策の体系に沿って、当初予算案における主要事業の概要を御説明申し上げます。

## 1 だれもが主役の桶川をつくる 【参画・協働】

市民と市が協働してまちづくりを推進するため、桶川市協働推進条例に基づき、市民の参画による更なる協働の推進と、だれもが主役の桶川のまちづくりに取り組んでまいります。

はじめに、市民活動サポートセンターにおきましては、NPOやボランティア活動の支援により協働の推進を図り、坂田コミュニティセンターにつきましては、市民の交流や活動の場として活用し、コミュニティの醸成を図ってまいります。また、町会・自治会活動等につきましては、補助金の交付や相談事業を実施し、引き続き地域の自主的な活動を支援してまいります。

次に、男女共同参画の推進につきましては、「第四次桶川市男女共同参画基本計画」を着実に推進するため、市民や関係機関との連携を図りながら、審議会等への女性の積極的な参画の推進や男女共同参画コーナー「アソシエ」の利用促進を図り、計画の将来像である「だれもが多様な生き方を認め合い男女<sup>ひと</sup>がかがやくまち おけがわ」の実現を目指してまいります。

## 2 生きる力を育み次代に繋げる桶川をつくる

### 【教育・文化】

次の時代の担い手である小さなこどもから高齢者まで、あらゆる世代が生きる力を育み、次代に繋げる桶川をつくるため、教育、文化芸術、生涯学習、生涯スポーツの振興、充実に努めてまいります。また、小・中学校の教育につきましては、児童生徒が「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を身につけ、「生きる力」を育むことを目指した教育の更なる充実に力を入れてまいります。

はじめに、昨今の記録的猛暑などに鑑みて、安全性を備えた安心感のある快適な教育環境を実現するため、市内全ての小・中学校の体育館に空調設備の整備を行います。令和4年度は、小学校4校において設計委託を実施いたします。

次に、感染対策、調理室の衛生環境の向上及びバリアフリー化のため、市内小・中学校給食室の調理員専用トイレを改修いたします。

次に、文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」に基づく、1人1台端末を児童生徒がより一層有効活用できるよう、引き続き市内の小・中学校にICT支援員を配置し、授業のサポートをするなど児童生徒を支援してまいります。

次に、中学校の水泳授業につきましては、生徒の水泳技術の向上、長期的なプール維持管理経費の削減及び安定的な授業実施を目指して、民間事業者の施設を利用した授業を段階的に実施してまいります。

次に、オンライン通信費助成事業につきましては、家庭におけるオンライン学習に伴う保護者の負担を軽減するため、要保護及び準要保護児童生徒就学援助費及び特別支援教育就学奨励費の対象世帯に対して通信費を助成してまいります。

次に、生涯スポーツの振興につきましては、引き続き相互連携協定を締結している「日本体育大学」や「埼玉西武ライオンズ」などとの連携事業を活用するとともに、「スポーツフェスティバル」や「オケちゃん駅伝競走大会」などを開催することで、子どもから高齢者までの幅広い年齢層の方にスポーツの楽しさを体験してもらうことで、スポーツの実施率の向上に繋げてまいります。

次に、文化芸術の振興につきましては、市役所1階の市民ギャラリーの活用や、市民の手づくりによる「おけがわ市民芸術文化祭」の開催など、自主的で独創的な文化活動への支援をまいります。

次に、文化財の保存・活用につきましては、本市の優れた文化財を次代へと引き継ぐために、調査や指定などの保護施策及び文化財保護の啓発を行うとともに、市内に存する文化財の積極的な活用を図ることも踏まえ、令和4年度から2か年の継続事業として川田谷公民館、川田谷図書館、歴史民俗資料館の複合施設である川田谷生涯学習センターの大規模改修を実施まいります。

### 3 共に支え合いいきいきと暮らせる桶川をつくる 【健康・福祉】

桶川市で生活する誰もが、日々、安心していきいきと暮らすことのできる基盤を作るため、健康づくりへの支援、保健・医療体制の充実、子育て支援、高齢者の介護予防、障害のある人の生活支援の充実など、住み慣れた地域で共に支え合い、住み続けることができるまちづくりを進めてまいります。

はじめに、健康づくりの推進・医療の充実につきましては、新型コロナワクチンの初回接種（1・2回目）が完了していない市民への接種機会の提供を継続するとともに、2回接種を完了した市民全てに対して追加接種（3回目）の機会を提供し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び重症化予防に努めてまいります。

次に、子育て支援の充実につきましては、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援体制の更なる充実を図るため、新たに産後健診の助成をするとともに、従来の訪問型産後ケアを拡充し、医療機関において宿泊型とデイサービス型を実施まいります。また、福祉3医療（こども医療・重度心身障害者・ひとり親家庭等）の県内医療機関における医療費の窓口払いを廃止し、保護者等の負担軽減を図ってまいります。さらに、虐待通告や一時保護を繰り返しているハイリスクの世帯を対象に無償でヘルパーを派遣し、児童虐待の再発防止に努めてまいります。

次に、高齢者施策の充実につきましては、地域密着型サービスの充実を図るため、看護小規模多機能型居宅介護サービスを提供するための施設に対して整備費用を助成してまいります。また、加齢に伴う免疫力の低下により発症リスクが高まる带状疱疹を予防するため、50歳以上を対象に带状疱疹ワクチン接種費用を助成してまいります。

次に、障害者福祉につきましては、障害者が地域で暮らすために必要なサービス給付や総合的、専門的な相談など、引き続き障害特性や生活状況の変化に応じた支援を行ってまいります。また、常時介護を必要とする重度障害者等に対する就労や通勤時に係る費用の補助を行い、障害者の就労支援の充実を図ってまいります。さらに、児童発達支援センターいずみの学園につきましては、老朽化対策とあわせまして、水害危険度の低い安全な場所への移転整備をするため、設計及び地質調査を行ってまいります。

次に、地域福祉につきましては、地域福祉活動センターの大規模改修を実施し、新たな活動拠点としてリニューアルするとともに、市役所とセンターに福祉総合相談窓口を開設することで、更なる地域福祉の増進を図ってまいります。

次に、生活困窮者自立支援につきましては、安心して暮らせる社会を維持するために引き続き事業を実施してまいります。また、自立に向けた生活支援につきましては、保護世帯の生活相談、就労支援及び健康管理支援の充実を図り、保護からの早期自立に向けて支援してまいります。

## 4 環境にやさしく安心・安全に住み続けられる

### 桶川をつくる

### 【市民生活】

地球温暖化など深刻化する環境問題に配慮した、省エネルギーやごみの減量化に努めるライフスタイルを推進し、誰もが快適に暮らすことができるまちづくりを推進してまいります。また、防災力・防犯力の向上や交通安全対策の充実を図り、市民一人ひとりの生命と財産が守られ、安心・安全な生活環境を確保することにより、心穏やかに暮らせるまちづくりを推進してまいります。

はじめに、地球温暖化対策につきましては、2050年温室効果ガス実質排出量ゼロの実現に向けて、市民等への啓発、再生可能エネルギーの普及促進、ごみの減量化などの脱炭素事業を推進してまいります。

次に、ごみ処理施設につきましては、埼玉中部資源循環組合の解散後、ごみ処理に関するあらゆる可能性を検討し、令和4年1月11日には、川島町、東松山市と「ごみ処理の広域化の推進に関する基本合意書」を締結しました。今後は、基本合意をもとに、ごみ処理の広域化に向け、3市町で協議を進めてまいります。また、更なるごみの減量化を目指すとともに、安定的なごみ処理に努めてまいります。

次に、防災対策につきましては、市民の生命、身体及び財産を保護するために必要な事項を定めた桶川市地域防災計画の改訂を行い、近年の災害対応の知見や教訓を反映させた、より実効性のある計画を策定してまいります。

次に、消防団につきましては、出動報酬の創設など消防団員の処遇改善を行うとともに、引き続き消防団員の確保及び、女性団員の登用に努め、消防団の充実強化を図ってまいります。

次に、交通安全対策につきましては、道路照明灯のLED化を推進していくとともに、通学路安全総点検に基づき、川田谷地内にグリーンベルトを設置し、安全な通行を確保してまいります。また、市内循環バスにつきましては、引き続き試験運行を実施し、本格運行に向け利用者のニーズにあわせた利便性の更なる向上を図ってまいります。

次に、消費者行政につきましては、桶川市消費生活センターにおいて市民からの相談に応じて問題解決に向けた支援を行うほか、消費者安全確保地域協議会を運営するなど、行政と地域との連携による消費者の見守りを図ってまいります。

## 5 みどりと調和した暮らしやすい桶川をつくる

### 【みどり・都市基盤】

魅力ある中心市街地の形成や、圏央道をはじめとする広域幹線道路網等の交通利便性をいかした、活力あるまちづくりを推進するとともに、

より安心して安全に暮らせる住環境の整備を行い、人にやさしい、みどり豊かで快適な、歩いて暮らせるまちづくりを進めてまいります。

はじめに、土地区画整理事業につきましては、坂田西地区では昨年11月11日に埼玉県より決算報告書が承認され、事業が無事終了いたしました。また、下日出谷東地区につきましては昨年9月17日に、上日出谷南地区では、本年2月18日にそれぞれ換地処分を迎えたことから、今後、組合解散に向けて引き続き清算事務などを支援するとともに、組合事業が円滑に進められるよう指導してまいります。さらに、上日出谷南2号調整池の整備を引き続き実施し、令和4年度の完成を目指してまいります。

次に、公共下水道事業につきましては、引き続き下日出谷字高井地区の管渠<sup>きよ</sup>整備を実施するとともに、駅東口整備事業の進捗に合わせて駅東口の管渠<sup>きよ</sup>整備を進めてまいります。また、持続的な下水道機能確保のため、公共下水道の適切な施設管理に努め、耐用年数を迎える施設の計画的な施設更新を行うためのストックマネジメント計画の策定に着手してまいります。

次に、駅東口整備事業につきましては、駅東口駅前広場整備のため、引き続き、用地の取得及び無電柱化を進めるとともに、歩行者用通路等の屋根の設計を行ってまいります。また、市道11-1号線と仲仙道線の交差点付近の拡幅整備のため、道路設計を行ってまいります。

次に、街路<sup>ひがし</sup>整備につきましては、愛宕東線の整備に着手し、用地買収に向けた測量業務などを進め、計画的な整備に努めてまいります。

次に、市道の維持管理につきましては、道路の舗装修繕及び橋りょうの定期点検を実施するとともに、狭あい道路の整備を推進し、身近な生活道路の利便性や交通安全の向上に努めてまいります。

次に、河川等の維持管理事業につきましては、大雨に伴う浸水被害などの軽減を図るため、石川川の浚渫<sup>しゅんせつ</sup>工事を実施するとともに、目沢排水路流域の治水対策事業を計画的に実施してまいります。

次に、一級河川江川につきましては、早期改修を図るため、引き続き、国、県へ強く要望するとともに、現在、上流域で埼玉県が進めている調節池の整備事業に協力するなど、早期改修を目指してまいります。

次に、憩いの自然空間の保全と活用につきましては、「緑のまちづくり基本計画」に基づき、保存樹林・保存樹木の指定及び市民緑地の保全に努めてまいります。

次に、公園につきましては、利用される皆様が安心して憩い、集えるよう、既存公園施設の維持・保全及び改善に取り組んでまいります。

## 6 にぎわいと活力ある桶川をつくる 【産業】

地域の特性を生かした農業、商工業、観光事業をはじめとする産業の振興や、雇用の場の創出とともに、活力とにぎわいのある都市づくりを進めてまいります。

はじめに、企業誘致の推進につきましては、桶川北本 I C 周辺東部地区において、交通利便性をいかした産業誘致の実現に向け、引き続き地権者協議会や事業者と相互に協力してまいります。

次に、道の駅推進事業につきましては、設計・建設及び維持管理・運営を一括して行う事業者の選定業務を行い、引き続き道路管理者である国と連携を図りながら、令和 6 年度中の開業を目指してまいります。

次に、農業の振興につきましては、地域が取り組む農地環境保全活動への支援などを行い、農業の活性化に努めるとともに、地域の担い手の利用集積を更に推進し、引き続き耕作放棄地の解消に努めてまいります。

次に、商工業の振興につきましては、空き店舗に新たに出店する事業者に対して補助を行い、引き続き空き店舗の利用促進及び活力ある商店街づくりを行ってまいります。

次に、観光の推進につきましては、観光ガイドブック「桶川じゃらん」や「英語版観光ガイドマップ」等を活用し、更に新たな観光資源の PR や活用など、観光協会と連携しながら本市の魅力向上に努めてまいります。また、べに花等の花を活用したまちづくりを進める「べに花の郷づくり推進協議会」や「べに花生産組合」、「花でもてなすまちづくり実行委員会」への支援を引き続き行ってまいります。

## 7 計画的で将来を見据えた桶川をつくる

### 【行財政運営】

今後の行財政運営は、人口減少社会の進展に伴う市税収入の減少が予想される一方で、高齢化を背景とした社会保障経費や老朽化した公共施設の維持・更新に要する経費の増加に加え、新たな財政需要が生じるなど、歳出増は避けては通れない状況にあり、大変厳しい状況が続くことが想定されています。そのため、業務の効率化や歳入歳出両面の見直しを進めるとともに、行政課題に的確に対応できる人材の育成にも取り組みながら、計画的で将来を見据えた持続可能な行財政運営に努めてまいります。

はじめに、計画行政の推進につきましては、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、社会環境が大きく変化する中、多様かつ持続可能なまちづくりを推進していくための、市政運営の総合的な指針となる次期総合振興計画の策定に取り組みます。

また、柔軟でスピード感ある市民満足度の高い行政サービスを提供するため、行政組織体制の整備を図るとともに、フレキシブルな働き方に対応できる職場環境の整備や職員研修の充実により、業務の効率化及び職員のワーク・ライフ・バランスの推進に努めてまいります。

次に、情報共有の推進につきましては、開かれた市政の実現のため、市民の身近な情報源として、広報紙や公式ホームページの更なる充実を図り、より分かりやすい情報発信に努めてまいります。

以上、市政運営に関する基本的な考え方及び令和4年度予算案の概要を述べさせていただきましたが、令和4年度も「桶川市第五次総合振興計画」の将来都市像である「みんなでつくり育む活気あふれる交流拠点都市おけがわ」の実現に向け、夢と希望を未来へつなぐ持続可能なまちづくりに全力で取り組んでまいりますので、議員各位並びに市民の皆様におかれましては、市政に対します、より一層の御指導と御協力を賜りますようお願い申し上げます、私の施政方針といたします。